



事例3 ゲームアプリの使い過ぎ

最近、栄太くんはスマートフォンを買ってもらい、ゲームアプリをたくさんダウンロードしています。

無料のゲームアプリだけを利用していると栄太くんに言われていたので、お母さんは安心していました。ただ最近、家にいるときはずっとスマートフォンを手離さずにゲームをしているので、やりすぎを注意すると栄太くんは「一緒にゲームをプレイしている友達たちに迷惑がかかるから、途中ではやめられない」と言って、一向にゲームをやめようとしません。

夜遅くまでゲームをしているようで、いつも栄太くんは眠そうにしています。

この事例の問題点は……？

■ グループワークで考えてみましょう！

- 子供が自室にスマートフォンを持ち込み、夜遅くまでゲームをしていたら、どのように対応しますか？
- 無料ゲームアプリをダウンロードすることに危険はあるのでしょうか？
- 子供がゲームアプリをダウンロードしオンラインゲームをするときには、親としてどのような心構えが必要でしょうか？

■ 親子で話し合うつもりで考えてみましょう！

子供と一緒にこの事例について考えた時、子供から次のようなことを言われた場合どのように対応しますか？

質問例①

子：自分がゲームに参加しないと、一緒にプレイをしている仲間に迷惑がかかるからやめられないよ。

親：

質問例②

子：お金もかからないし、成績も落ちていないから、別に夜中までゲームをやっても問題ないと思うよ。

親：

この例のほかにも、子供が質問しそうなこと、相談しそうなことを話し合ってみましょう。

■ 実際に「ルール」を作ってみましょう！

子供が宣言したルールを守れていれば「○」、守れていないときには「×」をつけましょう。

私の宣言書（子供に宣言させましょう）	1週間後	2週間後	
子供の宣言文：私は、インターネット、ゲームなどをやりすぎず、〇〇時までには寝ます。 約束を守れなかったら、1週間、午後8時以降はスマートフォンを使いません。			
子供の宣言文：私は、勝手にアプリをダウンロードしません。 約束を守れなかったら、			
子供の宣言文：私は、 約束を守れなかったら、			